

# 千四百年御聖忌記念特別展 聖徳太子 日出づる処の天子

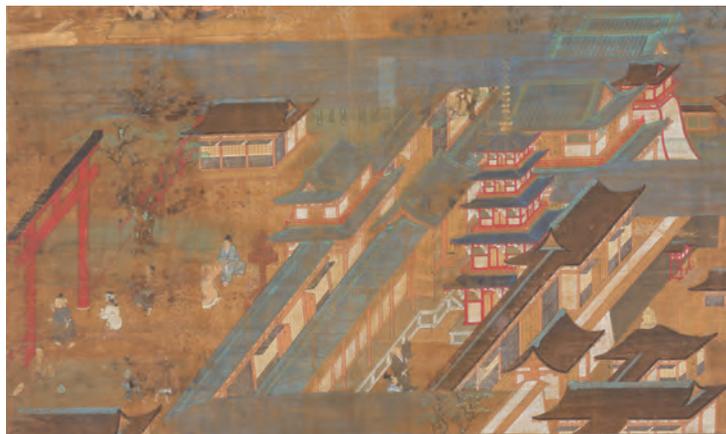
2021年9月4日(土)―10月24日(日)



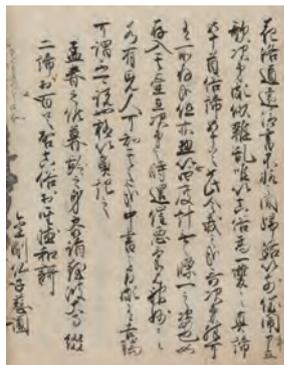
B



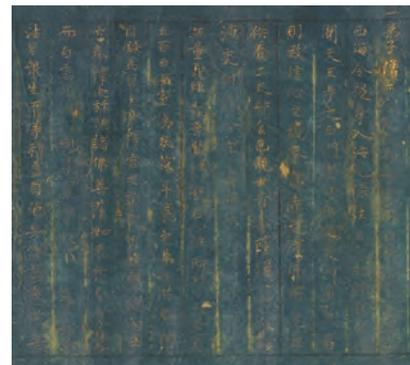
C



A



F



G



D



E



H



I

令和4年(2022)、聖徳太子(574～622)が没して1400年を迎えます。100年に一度の節目にあわせ、太子の生涯をたどり、没後の太子信仰の広がりをご紹介します展覧会を開催します。

太子は推古天皇の摂政として十七条憲法の制定や遣隋使の派遣など国家体制の確立に大きく貢献したことで知られます。さらに、四天王寺や法隆寺の創建に代表されるように仏教を篤く信奉し日本仏教の礎を築きました。

本展覧会では太子信仰の中核を担ってきた四天王寺の宝物を中心に、太子ゆかりの美術をご紹介します。

(石川温子)

### 〈展覧会の構成〉

- 第1章 聖徳太子の生涯－太子の面影を追って
- 第2章 聖徳太子信仰の広がり－宗派を超えて崇敬される太子
- 第3章 大阪・四天王寺の1400年－太子が建立した大寺のあゆみ
- 第4章 御廟・叡福寺と大阪の聖徳太子信仰－太子が眠る地
- 第5章 近代以降の聖徳太子のイメージ…そして未来へ―つながる祈り



J

- A 重要文化財「聖徳太子絵伝」第6幅 鎌倉時代・14世紀 愛知・本證寺(画像提供:安城市歴史博物館)
- B 「旧最高裁判所大法廷壁画 小下絵のうち 聖徳太子憲法宣布」堂本印象筆 昭和26年(1951) 京都府立堂本印象美術館
- C 「夢中顯現聖徳太子曼荼羅図」部分 室町時代・15世紀 愛知・西照寺
- D 「聖徳太子童形立像(槍髪太子)」及び重要文化財「採漆厨子」(太子像) 鎌倉時代・13-14世紀 〈厨子〉室町時代・永享8年(1436) 兵庫・鶴林寺
- E 重要文化財「救世観音半跏像」鎌倉時代・寛元4年(1246) 京都・三千院
- F 「拾玉集」巻第3「難波百首」部分 慈円[詠]・尊円親王[撰] 室町時代・文明3年(1471) 京都・青蓮院
- G 「供養目録」(西念所持四天王寺西門浄土信仰関連資料)部分 平安時代・保延6年(1140) 東京国立博物館 Image: TNM Image Archives
- H 重要文化財「聖徳太子絵伝」第13面 部分 狩野山楽筆 江戸時代・元和9年(1623) 大阪・四天王寺
- I 「聖徳太子坐像」佐藤朝山作 大正8年(1919) 東京国立博物館 Image: TNM Image Archives
- J 「鳳輦」および「聖徳太子童形半跏像」松久宗琳佛所作 〈鳳輦〉江戸時代・17世紀 〈太子像〉令和3年(2021) 大阪・四天王寺